

○「九条の会」は04年6月、井上ひさしや大江健三郎、澤地久枝ら9人の呼びかけで「憲法9条を守る」という一点で生まれた会です。今や全国に7,507、福島県内でも100以上の会が、超党派で、独自の自由な平和のための活動をしています。「はらまち九条の会」には匿名でも入会できます。年会費千円。事務局までご連絡下さい。



たんす
イン
ペ
ン
単
司

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.154

2010(平成22)年12月2日(木)発行



<1823年12月2日、アメリカ第5代大統領による「モンロー宣言」の日>

●「アメリカとヨーロッパ両大陸間では、相互に政治的に不干渉を保ち、独立を尊重する」という宣言。当時南米諸国がスペイン、ポルトガルからの独立運動が起こり、それを支持する意味もあった。「孤立主義」、「モンロー主義」とも呼ばれ、その後100年間のアメリカ外交の基本方針となる。そのお陰で米国は独立からわずか150年で世界一の国に発展する。日本の憲法9条とよく似ています。

「はらまち九条の会」発足から 5周年

2005(平成17)年12月7日の発足から5年間の <おもな活動>

2005
平17
10. 6名で会発足準備会
12.7 原町市福祉会館で「はらまち九条の会」発足

2006
平18
3.エルネットに意見広告
8.会のシール作製
11.あきいちに参加



2007
平19
2.総会・高田健氏講演会
4.映画『日本の青空』上映会
6.松元ヒロソロライブ開催



日本の青空

8.旧原町市発行の『憲法』復刻版を発行



11.南相馬市議会「憲法九条を守る意見書」を不採択

12.学習会

2008
平20
1.成人式で『憲法』を配布
2.総会・吉原泰助氏講演会

5.意見広告チラシを新聞に折り込む

8.原町区錦町に看板を設置。学習会

11.あきいちに参加



憲法9条について訴える会員

2009
平21

1.成人式で『憲法』を配布

2.南相馬市議会に「核兵器廃絶平和都市宣言」の合併後の再宣言を要望



4.総会・小森陽一氏講演会



核兵器廃絶平和都市宣言

小高区役所前の新看板

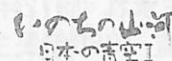
6.南相馬市議会に「核兵器廃絶平和都市宣言」を可決・再宣言

6.会報『九条はらまち』百号収録を発行

2010
平22

1.成人式で『憲法』を配布

3.映画『いのちの山河』第1回上映会(朝日座)



いのちの山河 日本の青空

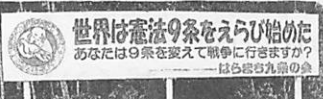
4.総会・蓮池透氏講演会



5.映画『いのちの山河』第2回上映会(小高区浮舟会館)



○発足から5年、会員の皆様のご協力により以上のような活動を、「会員」は415名に、「会報」は156号まで発行。

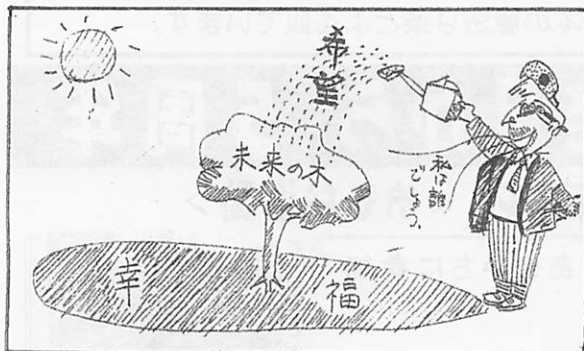


世界は憲法9条をえらび始めた
あなたは9条を認めて戦争に行きますか?
—はらまち九条の会—

『はらまち九条の会』発足から5年・事務局員として活動して

■「『はらまち九条の会』は早くも5周年を迎えました。この間、世界ではイラクを始めアフガニスタンや朝鮮半島など各地で紛争が絶えませんが、我が日本国は表向き憲法9条に守られて、一応平和保たれているかのように見えます。しかし、今年5月、憲法改定をめざす国民投票法が発効し、国はその気になればいつでもこの憲法を変えられるという危険な状態にあります。皆さんの御協力と御支援により、これまで折角守ってきたこの憲法9条を子孫の代まで残していくために、これからも一致団結して頑張っていきましょう。」……………(会長: 平田慶肇)

◆「5年間、試行錯誤の連続でした。皆様からの年会費で会の活動ができるわけですが、ご理解に心から感謝申し上げます。大切に有効に公正に遣うよう細心の注意をはらっています。」……………(会計: 井上由美)



■「このイラストは中学の卒業文集に私が画いたものです。『幸福は、未来の木を育てることから始まる。その木に希望の水をやり育てるのは自分である』。」

私たちにそう教えてくれた恩師遠藤芳郎先生は、平和を愛し、その大切さを訴え続けこの秋亡くなった。

チリの鉱山事故は、世界中の耳目を集め、無事救出されました。一方、戦火におののく中で、明日知れぬ希望のない生活を送っている

地域の人々がいます。人命が尊重される平和な社会が待たれます」……………(石田賢二)

■「『国民』という言葉を見た時、最初に『国』を考える人と、最初に『民』をイメージする人に、大別できるのではと最近思うようになりました。政治家の大部分はもちろん前者で、あらゆる機会に、そのことを世の中に知らしめようとします。それに対して、後者が決して譲ることができない一点は『憲法九条』だと、思いを新たにしています。」……………(早坂吉彦)

◆「この会も発足5年になり、会員数が400人を超えています。最近、会員の方から「何も解らないけど、戦争はいやだから入会しただけ。」という声を聞きました。次は自分の隣人にその声を回してやって下さい。数は絶対に力ですよ。」……………(番場恵子)

■「事務局を担当し、「人」と「お金」を集める大変さ、「憲法九条」の主張を広めたり、「会報」作りの難しさ、自分の非力ぶりに、ただ嘆息を繰り返すばかりです。事務局員は全員65歳以上の高齢者で仕事も持っていて、老骨に鞭打って動いています。でも何かとご協力や励ましもいただき、一同感謝しております。」……………(山崎健一)

これからどんな活動をしていけばいいのでしょうか
「九条の会」はこれまでの市民運動と違い、上からの指示で活動するのではなく、党派をこえてそれぞれの地域の会が思い思いのことで「憲法九条」を堅持し平和をめざすゆるやかな会です。これからの本会の活動について、ぜひあなたの知恵やアイデアをお教えください。



「《死刑台から教壇へ》の康宗憲の講演会を」(40代・主婦会員からのお手紙)



「最近、康宗憲著『死刑台から教壇へ』を読み、韓国現代史で民主化を考えた時、いかに私たちは日本国憲法に守られてぬくぬくとコタツの中で生活できているか、と有り難く改めて日本国憲法に感謝しています。できれば康先生の講演会を是非、南相馬市でお願いできないでしょうか。憲法9条を韓国人の視点から語っていただければ、より日本が鮮明に見えるような気がします。」……………(ありがとうございます。事務局でも前向きに検討させていただきます。)

※康宗憲(カンジョンホン): 1951年奈良県生まれ・1972年ソウル大学入学・1975年反共法、国家保安法違反容疑で逮捕・1977年死刑確定・13年間収監・1988年民主化で仮釈放され帰国・現在大阪などで教鞭をとる。

＜「はらまち九条の会」発足5周年記念＞

■主催: はらまち九条の会 ■パネル企画: 日本中国友好協会

「漫画展 中国からの引き揚げ～少年たちの記憶」

＜著名な漫画家による「戦争体験の絵」展示会＞ 入場: 無料

・1月28日(金)・29日(土)・30日(日) 午前9時～午後6時
・原/町駅前 原町中央図書館・大会議室 (30日は3時まで)

○同封の＜漫画展チラシ＞
＜漫画展ポスター＞は、原町区桜井町のケーキ屋さん「tonbo」の岡宏行さん(本会会員)のデザインによるものです。